

と し さ い せ い せ い び け い か く  
都市再生整備計画

お お さ か ち く  
大阪ビジネスパーク(OBP)地区

お お さ か ふ お お さ か し  
大阪府大阪市

令和8年3月

事業名	確認
都市構造再編集中支援事業	<input type="checkbox"/>
都市再生整備計画事業(社会資本整備総合交付金)	<input type="checkbox"/>
都市再生整備計画事業(防災・安全交付金)	<input type="checkbox"/>
まちなかウォークアブル推進事業	<input checked="" type="checkbox"/>

ウォークアブル推進計画の目標及び計画期間

様式(1)-②

都道府県名	大阪府	市町村名	おおさかし 大阪市	地区名	おおさか 大阪ビジネスパーク(OBP)地区	面積	26	ha							
計画期間	令和	6	年度	～	令和	10	年度	交付期間	令和	6	年度	～	令和	10	年度

目標

目標1: ターミナル駅である京橋駅と大阪城公園との緊密な連携を確保するため、建物低層部、公開空地、道路等を活用した連続性のあるにぎわい豊かな歩行者空間を整備  
 目標2: 河川に囲まれた地区として水辺空間の親水性を向上させるためのにぎわい空間の整備

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

一日の乗降客数が約50万人と大阪第四のターミナルである京橋駅と、大阪を代表する観光地である大阪城公園に隣接した、オフィスやホテル、ホール群を擁する大規模な面開発エリアである大阪ビジネスパーク(OBP)地区は、大阪城公園と一体となった公園の中のビジネス街を目指して国内ではじめて個人施行で行われた「大阪ビジネスパーク土地区画整理事業」により整備が進められており、マスタープランに基づくスーパーブロック開発・建築協定・総合設計制度の活用により1986年にまちびらきより約40年が経過し緑豊かなエリアが実現されている。  
 その後、梅田や中之島、なんば、天王寺・阿倍野エリアの大規模な面開発が進み、平成6年には大阪市内で働いてみたいエリアでトップであったOBPは、平成26年にはトップ10からも脱落しビジネスエリアとしてのイメージが低下。エリア間競争力を強化するため、平成23年度環境省サステナブル都市再開発促進モデル事業に採択されたタイミングで、地権者と学識経験者、行政が参加した「OBPリノベーション事業推進協議会」を設立し、低炭素化にむけたOBPリノベーション指針(案)を策定。既存都市のリノベーションモデルとなるべく、立地企業の技術活用や実証アプローチを推進している。その後、平成24年度経産省スマートコミュニティ構想普及支援事業、平成25～27年度経産省次世代エネルギー技術実証事業、環境省CO2排出削減対策強化誘導型技術開発・実証事業を推進し、立地企業の技術開発と開発技術のOBP地区内外への普及を推進している。  
 にぎわい創出のための取組としては、平成23年度に国交省「道路に関する新たな取り組みの現地実証実験」の位置づけを得て、道路を活用した街の魅力向上のため、3日間にわたり車道を全面封鎖し「OBPホコフェスタ」を実施。京橋駅～OBP間で平日・休日共約3,000人、OBP～大阪城公園間で平日約3,000人、休日約6,100人の増加を確認。昨今では、OBP地区内の植栽やあかり等の景観計画の策定や環境整備を推進している。  
 また、安心安全の取組として、平成24年1月に都市再生緊急整備地域に指定され、平成24～25年度内閣府都市再生安全確保計画策定支援事業において基礎調査を実施、平成26年度に都市再生緊急整備協議会を設立し都市再生安全確保計画を策定している。その後、OBP地区内での面的な避難訓練を実施し多数の他エリアからの視察等を受け入れるなど、OBP地区内の取組を強化しながらノウハウの外部への提供も実施している。

課題

・大阪ビジネスパーク地区はオフィスエリアとして多くのオフィスワーカーが利用しており、京橋と大阪城公園をつなぐパークアベニュー(道路空間)と連続する公開空地等の民地内空間や河川に囲まれた水辺空間があるものの、利用者に十分に活用されていないことから、高質な緑化空間の充実により、新たなビジネス空間・ワーカーの憩いの空間利用の促進が求められている。  
 また、夜間の照明が不足している等ことから夜間も安心して歩ける安心・安全な環境整備が求められている。  
 ・大阪市内第4のターミナルである京橋駅と大阪城公園が近接しており、京橋駅と大阪城公園における大規模イベント時に多くの来訪者があるものの大阪ビジネスパークに立ち寄り人が少なく、周辺拠点のポテンシャルを活かし、より人を誘引するための公共空間の質の向上・活用が求められている。

将来ビジョン(中長期)

都市再生緊急整備地域・大阪城公園周辺地域(121ha)のうち大阪ビジネスパーク駅周辺

【地域整備方針】

- ・都市開発事業を通じて増進すべき都市機能に関する事項  
 国際的な業務・商業機能の充実・強化をはかりながら、来訪者にとってにぎわいと魅力が感じられる空間形成をはかり、複合的な国際拠点機能を形成
- ・公共施設その他の公益的施設の整備及び管理に関する基本的事項  
 ターミナル駅である京橋駅と大阪城公園との緊密な連携を確保するため、建物低層部、公開空地、道路等を活用した連続性のあるにぎわい豊かな歩行者空間を整備  
 河川に囲まれた地区として水辺空間の親水性を向上させるためのにぎわい空間の整備
- ・緊急かつ重点的な市街地の整備の推進に関し必要な事項  
 地域の事業継続性の確保のための災害に強いまちづくりの促進

大阪の大改革(エリア編)～「これからの大阪」5.大阪城公園、森之宮、京橋・大阪ビジネスパーク(平成30年12月策定)

【将来像】

- ・建物の大規模な改修・更新を迎えるにあたり、災害時などリスク発生時の業務継続性に強く、エリア全体の防災性や環境に配慮したまちとする。
- ・公開空地等と一体となるようパークアベニューの活用を図るなど、歩行者空間を整備。

大阪都市魅力創造戦略2025「水都大阪 水辺の魅力空間づくり」(令和3年3月)

都市像ごとの施策項目及び主な施策 2 大阪ならではの賑わいを創出する都市 ①世界第一級の文化・観光拠点の形成・発信

- ・大阪市内の重点エリア(大阪城・大手前・森之宮地区)
- ・水都大阪(水の回廊のさらなる活性化等)、光のまちづくりの推進(大阪・光の饗宴等)

## 一体型滞在快適性等向上事業及びまちなかウォークアブル推進事業の計画

### 滞在快適性等向上区域の考え方

京橋駅～OBP地区(パークアベニュー)～大阪城公園を中心とした街区を滞在快適性等向上区域として設定し、道路環境整備の推進、寝屋川及び第二寝屋川の公園空間の景観整備・安全性向上によりゆとりある歩行者空間を確保するとともに、沿道の民地内の滞在空間と一体となったオープンスペースの創出等により、官民一体となって居心地の良いまちなかを創出する。

### 滞在快適性等向上区域での取組

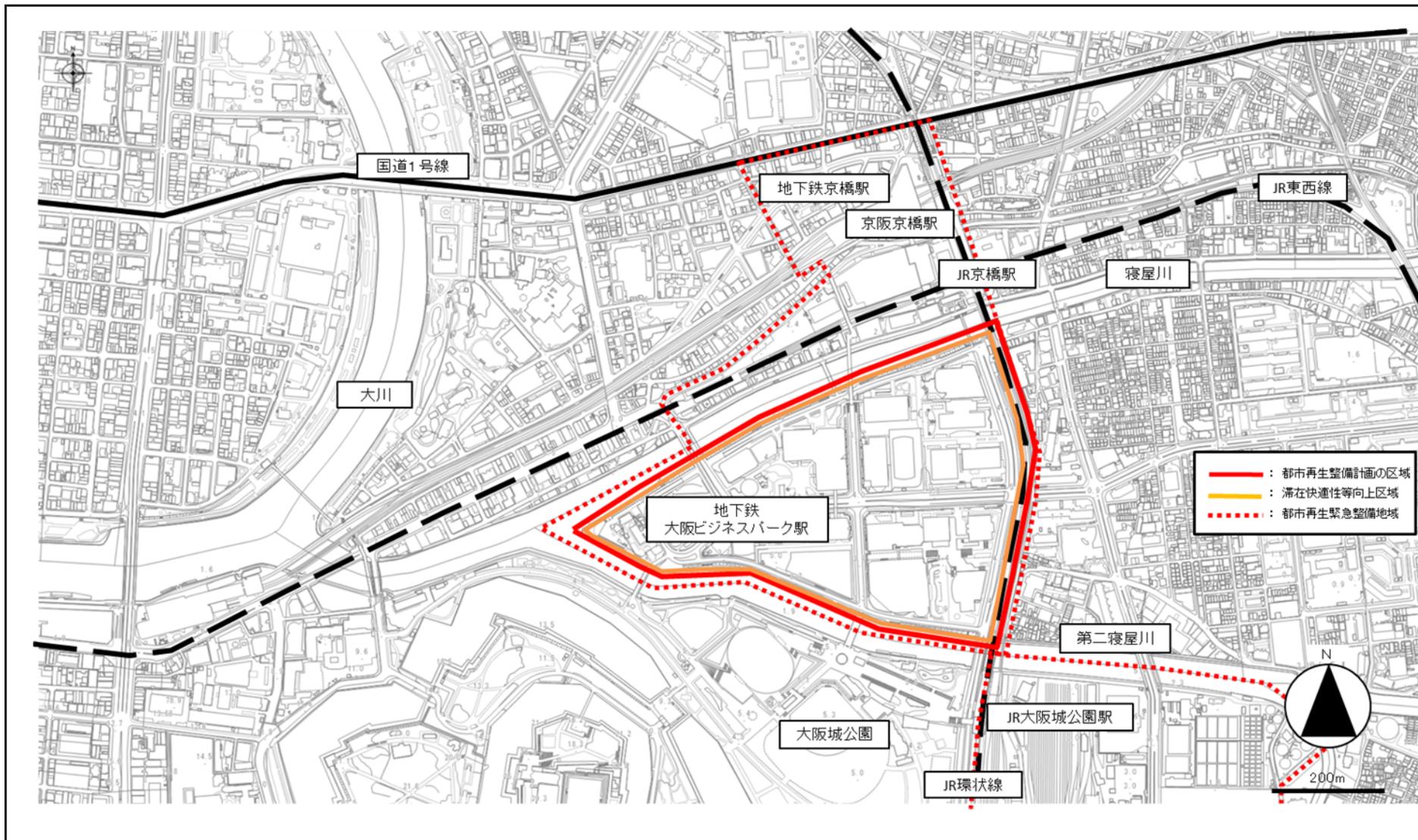
- ・京橋と大阪城公園をつなぐパークアベニューを、先行して整備されている民地内の滞在空間と合わせて新たなビジネス空間・ワーカーの憩いの空間の利用を促進するため、植栽等の再整備を実現する。
- ・パークアベニューと寝屋川の接点部に先行して整備されている民間の植栽整備と一体となった憩いの空間整備を官民連携して実現する。

目標を定量化する指標								
指標	単位	定義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度	
歩行者交通量	人/12時間	パークアベニューに接続するツイン21前断面での歩行者交通量を実測	賑わい創出や円滑な交通環境整備により、歩行者交通量が維持できる。	8,628人/12時間(平日)	H25年度	従前値+2.5%	R10年度	
イベント開催件数	件/年	OBP地区内で開催されるパークアベニューに面した屋外空間の活用を含むイベント件数	地区内外の交流人口の増加による沿道への賑わい創出がはかれる。	1件/年	R4年度	2件/年	R10年度	
OBPへの愛着度	%	OBP地区内のワーカーで、OBPに愛着・親しみを感じている、好きだと答えた比率(アンケート)	地区内への愛着、親しみをもったまちづくりの推進の実態が反映される。	62%	H31年度	75%	R10年度	

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>目標1:ターミナル駅である京橋駅と大阪城公園との緊密な連携を確保するため、建物低層部、公開空地、道路等を活用した連続性のあるにぎわい豊かな歩行者空間を整備 に関する事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>京橋と大阪城公園をつなぐパークアベニューを、先行して整備されている民地内の滞在空間と合わせて新たなビジネス空間・オフィスワーカー・来訪者のための憩いの空間の利用を促進するため、植栽の再整備を実現する。</li> </ul>	<p>基幹事業【滞在環境整備事業】パークアベニューにおける都市施設(都市計画道路)内の「OBP Blooming Place」整備運営事業(令和3年度～)(OBP協議会環境共生部会)</p> <p>パークアベニューにおける夜間景観及び滞在空間改善事業(令和8年度～)(OBP協議会都市再生部会)</p>
<p>目標2:河川に囲まれた地区として水辺空間の親水性を向上させるためのにぎわい空間の整備 に関する事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>パークアベニューと川の接点部に先行して整備されている民間の植栽整備と一体となったオフィスワーカー・来訪者のための憩いの空間整備を官民連携して実現する。</li> </ul>	<p>基幹事業【滞在環境整備事業】寝屋川河川空間/城見緑道公園内の「OBP Blooming Place」整備運営事業(令和3年度～)(OBP協議会環境共生部会)</p> <p>パークアベニューにおける夜間景観及び滞在空間改善事業(令和8年度～)(OBP協議会都市再生部会)</p>
<p>その他</p> <p>【持続的な管理・運営のための取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>京橋地区、大阪城公園地区(将来的には森之宮地区)との連携強化をはかり、イベント情報の連携を実施。(OBP協議会地域活性化分科会)</li> </ul> <p>【その他官民協働の取り組み事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>城見緑道公園エリア安全性向上・景観改善社会実験(令和4年度)(OBP協議会都市再生部会、水都コンソーシアム)</li> <li>中之島にぎわいの森づくり 城見緑道公園への植樹(平成30年)及びライトアップ(DREAMS COME TRUE WINTER FANTASIA事業)(大阪府)</li> <li>国交省都市安全確保促進事業 災害時行動確認訓練(令和4年度)(OBP協議会安全安心部会)</li> </ul> <p>【協定制度等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>寝屋川沿いの緑道空間における大阪府アドプトリバー制度、大阪市ふれあい花壇制度を活用した民間によるナチュラルスティックガーデン「OBP Blooming Place」整備運営事業(令和3年度～)(OBP協議会環境共生部会)</li> </ul>	



大阪ビジネスパーク(OBP)地区(大阪府大阪市)	面積	26 ha	区域	大阪市中央区城見
--------------------------	----	-------	----	----------



## 大阪ビジネスパーク(OBP)地区(大阪府大阪市) 整備方針概要図

目標	目標1:ターミナル駅である京橋駅と大阪城公園との緊密な連携を確保するため、建物低層部、公開空地、道路等を活用した連続性のあるにぎわい豊かな歩行者空間を整備	代表的な指標	歩行者交通量 (人/12時間)	8,628人/12時間(平日) (H25年度) → 従前値+2.5% (R10年度)
	目標2:河川に囲まれた地区として水辺空間の親水性を向上させるためのにぎわい空間の整備		イベント開催件数 (件/年)	1件/年 (R4年度) → 2件/年 (R10年度)
			OBPへの愛着度 (%)	62% (H31年度) → 75% (R10年度)

